

助手  
坂本 未穂

## ■ 学歴

---

1. 2009年 西南女学院大学 保健福祉学部看護学科卒業

## ■ 学位

---

1. 2009年 学士

## ■ 研究分野

---

1. 成人看護学領域（急性期・回復期）
- 2.
- 3.

## ■ 研究キーワード

---

1. 看護技術教育
- 2.
- 3.

## ■ 研究課題

---

1. 成人急性期教育研究
- 2.

## ■ 担当授業科目

---

1. 成人看護学演習（前期）（看護学科）必修
2. クリティカルケア看護学（前期）（看護学科）集中講義
3. 成人急性期看護学実習（後期）（看護学科）必修
4. 看護のための臨床検査（後期）（看護学科）必修
5. 基礎看護学実習Ⅱ（前期）（看護学科）必修
- 6.
- 7.
- 8.
- 9.
- 10.

## ■ 授業を行う上で工夫した事項

---

※ 助教・助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項

- |    |   |
|----|---|
| 1. | 授業科目名【成人看護学演習】                                |
|    | 看護過程と技術演習のつながりを意識して実施できるよう指導を行った。技術演習では、看護過程を |

	展開するにあたって必要な知識を理解し、関連付けて学ぶことができるよう指導を行い、技術テストのための自主練習でも、学生が自主的に考えて学ぶことができるように声掛けを行った。看護過程では、実習でも看護過程の展開ができるように、アセスメントの視点を教科書に戻りながら確認し、アセスメントを展開できるよう指導を行った。
2.	<p>授業科目名【クリティカルケア看護学】</p> <p>クリティカルケア看護学の講義と、技術演習に入らせて頂いた。講義ではグループワークで、患者の倫理問題について話し合い、学生の意見を聞いて新たな視点を元に倫理について再度考えを深めることが出来た。技術演習では人工呼吸器の装着体験等、学生が患者経験をすることで今後の看護をどのように考える必要があるのか考えていくため、患者の思いを臨床での経験を元に学生の患者のイメージ化を図るよう支援した。</p>
3.	<p>授業科目名【成人急性期看護学実習】</p> <p>コロナウイルス感染による影響が落ち着き、一日臨地実習を実施することができるようになった。しかし、実習施設では多忙であることや、業務体制の変化があったことから、まずは実習指導者と密に話し合いながら実習をどのように進めていく必要があるか検討した。学生自身も臨地実習が初めての学生もいたため、実習先での礼儀やマナー、コミュニケーションの施行状況などにも着目しながら実習指導を行った。また、学内で学んだ周手術期の看護についての知識を活かせるように、学んでいる講義資料や自己課題などの資料に目を通してもらうよう指導し、知識をつなげていけるよう指導を行った。</p>
4.	<p>授業科目名【看護のための臨床検査】</p> <p>技術演習では、主に尿検査のブースを担当した。尿検査では、学生が尿検査の結果を的確にとらえられることができるよう模擬尿の作成などの準備を行った。また、演習中は円滑に進むように時間配分や資料の進行状況に合わせて助言を行った。</p>
5.	<p>授業科目名【基礎看護学実習Ⅱ】</p> <p>看護過程を展開するにあたって、疾病をまだ学んでいないため、必ず形態機能学で学んだ、人体の構造と機能に戻り、入院することで、状態がどう変化したかを捉えてもらえるよう指導を行った。また、実際の患者さんの事例を用いての看護過程を展開することも初めてであるため、学内で習った看護過程の内容に戻って、その書き方に沿って看護過程の展開が行えるように指導を行った。</p>

## ■ 学会における活動

	加入時期	所属学会等の名称	役職名等（任期）
1.	2009年4月（現在に至る）	日本看護協会	なし
2.	2019年9月～（現在に至る）	日本医療教授システム学会	なし
3.	2019年9月～（現在に至る）	日本看護シミュレーションラーニング学会	なし
4.	2021年8月～（現在に至る）	日本科学学会	なし
5.	2021年9月～（現在に至る）	日本教育学会	なし

## ■ 研究業績等に関する事項（2023年度）

発行又は	著書、学術論	単著・	発行所、発表雑誌	概要

	発表の年月	文等の名称	共著の別	誌等又は発表学会等の名称	
(著書)					
1.					
2.					
3.					
(学術論文)					
1.					
2.					
3.					
(翻訳)					
1.					
2.					
3.					
(学会発表)					
1.					
2.					
3.					

## ■ 外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(1) 共同研究				
	研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（ ）内は学外者	交付決定額 (単位：円)
1.				
2.				
3.				

(2) 個人研究				
	研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考
1.				
2.				
3.				

## ■ 社会における活動

任 期	団体・委員会等の名称	役 職 名 等

	期 間 等	(内 容)	
1.			
2.			
3.			

■ 学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

	任 期 期 間 等	会議・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.	2023年4月1日～現在に至る	NAS	なし
2.	2023年4月1日～現在に至る	シオンの会	なし
3.			